

ふたりのエッセイ

あめ

あめの2011年・何でもランキング

雨宮牧子◆

お宿部門第1位！おぼこ荘 [北海道八雲町]

むか〜し、大学生の頃に1度だけ行ったことのある温泉宿。すっごく久しぶりに行ったら、すっごくきれいになっていた！

建物はリニューアルして変わっても、広〜い露天風呂は変わらず存在。すぐそばを流れる川の音を聞きながらお湯につかれれば、全身くったり・極楽極楽・ピバノンなひとときです。

お酒部門第1位！苗場山 [新潟県津南町]

津南町は、結成初期頃に毎年のように行っていた松之山町と山ひとつ越えたお隣さん。なんとも懐かしい地域です。

小学校公演の後、PTAのお母さんたちとの交流夕食会でいただいた地元のお酒、苗場山、しぼりたて原酒。

これがもう、うまいのなんのって！さすが新潟！思い出だけで咽が鳴ります。

お初部門第1位！フットマッサージ [もぐフェス会場]

はこだて国際民俗芸術祭・「もぐフェス」エリア。

その一角に、きれいなお姉さんがにっこりほほ笑む癒しの空間・プアマナさんのテントがございました。むくんでパンパン、地面を踏むたびに痛む足に耐え兼ねて、フットマッサージを初体験。これがもうびっくりの効果！

今なら函館山を走って登れそう！ってくらいに足が、そして全身が軽くなりました。いや、すごいわ、フットマッサージ。



ナベ

私は邦画が好きなんです！

ワタナベヒロシ◆

日本映画が好きだ。殊に、古い日本映画が大好きだ。洋画も決して嫌いでないのだけれど、よっぽど興味を引いたもの以外はあまり見ることがない。

私の好きな日本映画の代表格といえば、やはり『男はつらいよ』だ。中でも一番のお気に入りにはシリーズ第18作の『寅次郎純情詩集』。これは数あるシリーズの中で唯一、マドンナが亡くなってしまおうという作品。「イモの煮つ転がしを食べたい」と言う病床のマドンナのために、山ほどのじゃがいもをかついで「とらや」に戻る寅さん。「今すぐ作れ！早く作れ！」とせかす寅さんに、ただ一人、マドンナの余命が長くないことを知っている妹のさくらは、泣きながらイモを洗う。このシーンがなんとも泣けるのだ。マドンナが亡くなったあと、旅に出る寅さんが描いていた夢をさくらに語るシーンにも心を打たれる。

日本映画といえば「黒澤映画」も欠かすことは出来ない。数々のサムライ映画はもちろん好きだが、私のお気に入りには志村喬主演の『生きる』。胃のレントゲン写真から始まるオープニングは実に衝撃的だ。この映画は、病に冒された役場職員が、ていねいな行政を動かし、自分の残り少ない命をかけて、町に公園を作ろうと奔走するお話。公園の設置が決まり、ハッピーエンド！と思いきや、世の中そう簡単にはいきませんぜ、というエンディングもまた、オープニングと同様に衝撃的。社会の現実を見事に突いている。

スケールの大きな洋画もいけれど、たまには古い邦画もいかが？と、私のお気に入り作品を二つばかり紹介してみた。

社員紹介 ヒトココチなひとびと



ふくだたくま [従業員番号003]

言わずと知れたヒトココチの頼れる大番頭。ステージを降りては8年。「色が白すぎる」のは昔から!?

幼児体型とおこちゃま味覚は相変わらず。体力の衰えを感じたのが毎朝のラジオ体操が日課!

三浦幸 [従業員番号010]

平日の午前中だけながら、パート暦なんと7年目。経理関係、DM作業などなどお世話になりっぱなしのためにもしい存在。毎日昼前に交わされるたくまとの「おなかか鳴った」話がかわいらしくて微笑ましい。忘年会ではなぜかソガをライバル視。毎年ボーリング対決で白熱!

井藤淳哉 [従業員番号017]

東京からソガにそそのかされて(!?) 函館に移住してる2年。照明が本職ながら、運転手からグッズ販売、そして獅子舞企画ではお囃子隊と、なんでもこなすありがたい存在。甘いものが大好きなヒトココチ唯一の愛煙家。お酒にはめっぽう弱い。



NEW!

ひのき屋ライブで販売中! —新しい商品を2点ご紹介。「木のZOO」は、ホームページ (hitococochi.jp) でお求めいただけます。

■木のZOO / 草の実工房もく [おもちゃ]



札幌スタイルに認定された円山動物園オリジナルグッズ「木のZOO」を販売しています! 発売元は「草の実工房もく」。28種類という種類の多さや、精巧な糸のご技術をいかした素材で味のある動物フィギュアです。丁寧に磨き上げており、肌触りもよく、つまみ上げて積み木遊びもでき、子供のオモチャに最適です。特製16ページカラーブックレット封入。親子で手にとってお楽しみいただけます。

■函館新名物がこころ焼きそば/日の出製麺 [2人前]



ライブ会場では日の出製麺株式会社が商品化した「函館がこころ焼きそば」を販売しています。混ぜる! さらに混ぜる! 粘る! 食べる! という4段階でお召し上がりください。「函館がこころ」が「函館発「B級グルメ」として提案し、ラーメン店からなる「函館がこころ焼きそば研究会」が2011年に考案しました。ガゴメコンブがとるとろという変わった食感を楽しむことができます。

φ(・・) 電電話録 byふくだたくま◆本紙の編集は、初代雨宮、私ふくだを経て、今回三代目しまだが担当。ちなみに創刊号で私が書いた記事は「禅の思想と『十牛図』にヒントを得た私は、自分探しの旅と称して京都へ」だって。当時は今と変わらぬイタイ男なのでした。驚くべきはこの創刊号、4月20日発行としか記されてないこと。いったい何年なんだっけーの。当時はこんなに続くと思わなかったんだねえと。

電子 現在の「ひのきばやし」は電子ひのきばやしとして、メールで不定期にお届けしております。www.hinokiya.com または hitococochi.jp にてぜひご登録を。ご希望の方は sales@hito.co.jp宛てに「登録希望」とメールを送っていただければ、代わって登録させていただきます!

編集後記(しまだ)◆初期の、ほんとうに駆け出しのわたしたちを、陰ながら応援してくださった方、そして、何度もライブを企画してはひのき屋を盛りたててくださった方。2011年は親しい方の訃報が相次ぎました。ほんとうに、つくづく人の生き様(よう)というものを考えさせられる年でした。この場をお借りして、心からご冥福をお祈りします。

■ひのきばやし 51 □2012年1月25日発行 □発行所株式会社ヒトコチ 〒041-0833 函館市南川1-52-1 http://hitococochi.jp □編集人しまだめぐみ □印刷 株式会社グラフィック □本誌の無断転載はご遠慮ください。本誌における商品・サービス名は各社の登録商標です。Printed in JAPAN 2012

ひのきばやし



ふっとため息が出てしまうような、いまの日本の現状。先の見えない、不安な日々…。2011年は、ほんとうにすごい年でした。いろいろなことを考えさせられた、そんな一年でした。地震のあと、ひのき屋としても、ヒトココチとしても、今後どうするのか、わたしたちに何ができるのか、メンバーみんなで話し合ったりもしました。そんななかから出てきたことは、「日常を精一杯生きる」ということでした。わたしたちの日常…。わたしたちにできること。「音楽を届けること」

さあ、あたらしい年の始まりです。今年もまた、たくさんの笑顔に出会えますように! —しまだめぐみ

www.hinokiya.com

「紙の」ひのきばやし復刻!

あけまして、2012!
2012はどんな年?

今年もよろしくお願ひします!

今年の抱負 ——ソガ直人◆

ひのき屋が生まれてから何と14回目のお正月を今年は函館でむかえている。ふりかえてみると、毎年異なる14種類の1年間を必死に描いてきた。演奏に向いた国の数もちょうど14カ国。毎年同じことが繰り返される単調さとは正反対の生き方をしてきたという自負がある。だが、ここに来て1年を過ごすパターンが多少つくられてきたように思う。つまり、「この時期にはこれがしたい!」というこだわりがでてきたのだ。

とてもおおざっぱに言うと、雪が降り積もる頃になるとツアーにはあまり出ず、函館圏の人たちと頻りに会って、一緒にたいこをたたいたり、お祭りをつくる地元志向な生き方に。

雪がとけると、新曲や新しいCDを、メンバーでアイデアを出し合いながらつくり上げる仕込みの時期に。

そして、五稜郭公園の桜が咲き、太陽が高くのぼり始めると、積極的に屋外に飛び出して、路上での大道芸や、野外イベントなどで演奏する機会をどんどん増やす。

紅葉のうつろい季節には、保育園、幼稚園、学校、公民館や劇場など屋内施設での演奏にあけくれる。

ここ3~4年は、ほぼこのサイクルを自然と繰り返しており、自分たちもそれで悪くないと感じ始めている。

そんな日々の中でも、自分たちの中で最近はやっていて、2012年にも盛り上がりそうなことを2つばかり。

1つめは、世界中のフォークダンス曲のコピーとアレンジ。

これは、通称「芸術祭」と呼ばれ、夏の函館で開催されている野外フェスティバルの存在のおかげである。

そこで出会ったフォークダンス愛好家のみなさんからのリクエストを受け、有名なマイムマイムに始まり各地のフォークダンス曲に次々に取り組んでいる。これがとてもおもしろい。久々に伝統的な音楽に身をゆだねる心地良さを味わっている。

それにしても世界中には、なんて素敵なメロディーが響かっているのだろう。

そして、2つめは「サンバ」。



2012はこんなことやります!

3月から4月はレコーディング!? フォークダンスのCDをつくりたいなんて話しておりますが、さてさてどうなることやら…。毎年恒例、6月開催の芸術祭のオープニングツアー。今年は東欧ハンガリーからジプシーバンドがやってくる!?
6月30日埼玉・志木市民会館で、志木おやこ劇場主催のライブが決定! 2012初海外♪(ひのき屋では津軽海峡を越えることをすべて海外と呼んじます!)
夏の芸術祭、今年はどこの国からやってくるのか!? (8月4日から10日まで開催。ポーランド、フランス、インドネシアなどが出演予定。そして今年も、もくフェスが同時開催。世界の料理と音楽をたのしもう♪)
10月、道内ライブツアー(北見、江別、紋別でのライブを予定しています!)
そしてそして、11月はやっぱり今年も横浜で決まり!(11月5日から19日を予定しています。公演のご予約はお早めに!)

いわずと知れたブラジル発のダンスミュージックである。

まだ、その打楽器のリズムをほんの少しかじった程度だが、その絶妙なるリズムの組み合わせに熱中している。

ひのき屋が、フランスのリヨンの野外フェスティバルに出演したときに、リヨンの市民が、広場や街中をサンバで練り歩きながらフェスティバルのムードを盛り上げている光景がとても良く、いつか自分たちもたくさんの仲間とこんな風にやれたらいいなと夢見ていた。

それが嬉しいことに少しずつ形になってきている。

さて、「2012年」も、ひのき屋、そしてヒトコチ社員一同、こんな感じでドカドカと生きぬいていきますよ。



ありがとう2011♪ 2011年もいろんなところへ行って来ました。そんな中でも、初のチェコ、ハンガリー、スロバキア3国へのツアーはとっても刺激的な旅でした。チェコ・プラハでは、テネブのマルチンと1年ぶりの再会。奥様&おなかの赤ちゃんも一緒に、いろいろと市内を案内していただきました(写真上)。国内では、たくさんの北海道内の学校をまわった年でもありました。忙しかったけど子どもたちの無邪気な笑顔は、ほんといいものですね。おかげさまで、ほんとうに盛りだくさんの2011でした。ありがとう♪
—写真は東欧ツアーのもの。撮影は井藤淳哉。



はこだて国際民俗芸術祭プレイベント「ワールドビバフェスティバル」フライヤー
幼児・小学生向け公演「ひのき屋・わいわい音楽隊!」フライヤー



はこだて国際民俗芸術祭オープニングライブツアー「マオリとヒノキヤ」フライヤー



江別市「ラ・フォルケッタ」フライヤー



七飯町「わいわいファミリー音楽祭2011」フライヤー

~ 2011の主な活動 ~

- 1月 「ひのき屋の新春獅子舞企画」
市内保育園公演
ワークショップいろいろ
- 2月 「わいわいファミリー音楽祭2011」
- 3月 「春のひのき屋まつり」
- 4月 チェコ・ハンガリー・スロバキアツアー
- 5月 「金森大道芸7」
「元町大道芸」
「1日たのこ体験教室」
オープニングライブツアー
- 6月 芸術祭 OLT「マオリとひのき屋」
「巨大紙芝居と楽器づくり」
- 7月 「北海道文教大学トーク&ライブ」
江別市「ラ・フォルケッタ」
鷹栖柏の里公演
芸術祭「ワールドビバフェスティバル」
松前城ライトアップとひのき屋
「ふれいおん・とかち」
- 8月 「第004回はこだて国際民俗芸術祭」
帯広「夢降夜」
道内学校ツアー(函館、室蘭、北見)
- 9月 道内学校ツアー(北見、札幌、岩見沢、釧路、旭川、白糠、名寄、羅臼、清水町、八雲)
- 10月 道内学校・保育園ツアー(稚内天北、北見、札幌、旭川、函館)
札幌草の実会「秋のひのき屋ライブ」
滝川・美唄ライブ
- 11月 横浜・新潟ツアー
- 12月 「イタリアンひのき屋ディナーショー」
「さんきゅうライブ9」

たくさんのお出合いに感謝!